

米国小型株サステナブルグロース・ファンド (愛称：ダイヤの原石)

分配金のお知らせと、最近の運用状況について

2021年8月18日

平素は、「米国小型株サステナブルグロース・ファンド（愛称：ダイヤの原石）」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、2021年8月16日に第4期計算期末を迎え、当期の収益分配金につきまして700円（1万口当たり、税引前）と致しましたことをご報告申し上げます。

当ファンドの分配方針は以下のとおりとなっています。

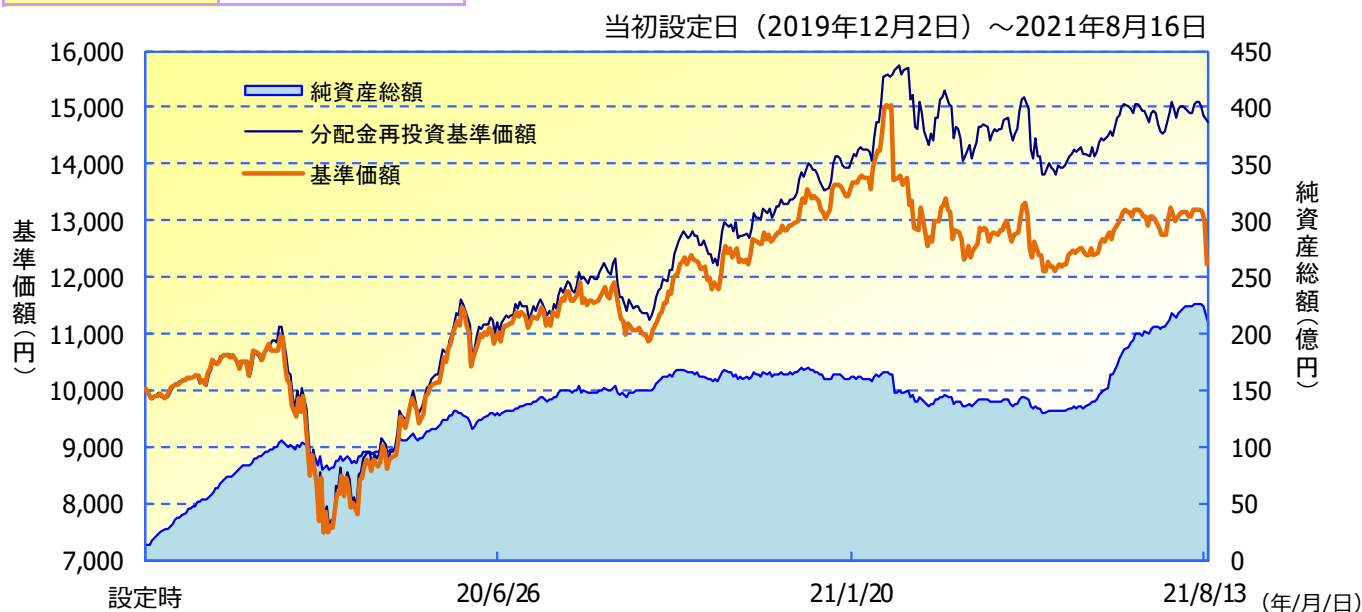
1. 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。
2. 原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

※分配金は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社（大和アセットマネジメント）が決定しますので、将来の分配金について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

■ 基準価額・純資産・分配の推移

2021年8月16日現在

基準価額	12,217 円
純資産総額	210億円



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。
 ※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

お伝えしたいポイント

- 金融引き締め懸念により大型株優勢も、ハイクオリティ株に復調の兆し
- 主力銘柄が好調。物色の広がりが見え、パフォーマンス改善につながると期待
- 運用方針：今後も競争優位性のある成長企業に投資

※当資料は、ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメント（以下、ケイン社）のコメントなどを基に大和アセットマネジメントが作成したものです。

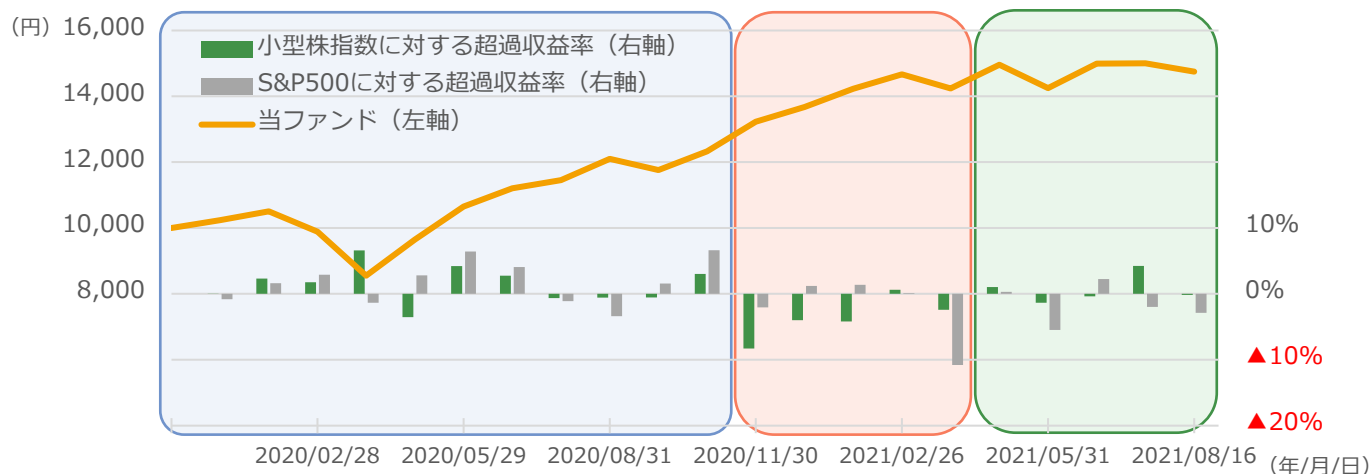
金融引き締め懸念により大型株優勢も、ハイクオリティ株に復調の兆し

過去1年の相場展開：2020年11月以降はハイクオリティ株劣勢。直近は改善の兆し

過去1年の運用において、2020年10月までのコロナ禍からのリバウンド局面においては、当ファンドの組み入れているハイクオリティ銘柄が順調に超過収益を上げました。

しかし、2020年11月以降は足踏みが続いています。11月以降はワクチン開発の進展やバイデン政権による財政政策への期待により、投資家のリスク許容度が高まりました。そのため財務内容が悪く、収益力の低い企業も大きく上昇しました。また、2021年3月以降は、米長期金利の上昇とインフレ懸念により金融引き締めが市場で意識されるようになり、大型株優勢に推移しました。小型株中心の当ファンドはやや苦戦していますが、小型株の中では相対的にハイクオリティ銘柄が堅調で、小型株指数に対するパフォーマンスは改善しつつあります。FOMC（米国連邦公開市場委員会）が利上げの見通しを示してから米長期金利も安定しております。過度な引き締め懸念が後退する中で、次第に小型ハイクオリティ銘柄にも注目が集まってくると期待しています。

基準価額と、S&P500、小型株指数に対する超過収益の推移（月次ベース）



設定→2020年10月末
ハイクオリティ優勢

- コロナ禍で落ち込むも金融緩和で株価は回復。
- 財務健全性、利益変動の低い企業が評価。またライフスタイル変化でIT企業が好調。

2020年11月→2021年2月末
景気敏感株優勢

- ワクチン開発や、バイデン政権による財政政策への期待により、市場のリスク許容度上昇。
- 小型株指数が急上昇。
- ハイクオリティ銘柄はやや劣勢。

2021年3月→直近
大型株優勢

- 長期金利上昇、インフレ懸念により金融引き締めを警戒。
- 大型株優勢の展開。
- ハイクオリティ銘柄が対小型株指数ではアウトパフォーム。

* 設定時（2019年12月2日）～2021年8月16日

* 基準価額は分配金再投資基準価額を使用

（出所）ブルームバーグ、大和アセットマネジメント

※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

主力銘柄が好調。物色の広がりがパフォーマンス改善につながると期待

■ 組み入れ上位銘柄の反発にみるハイクオリティ銘柄の回復。今後は銘柄の広がりに期待

金融引き締め懸念により、ここ数カ月は大型株優勢の相場が続いており、当ファンドのパフォーマンスも苦戦しています。しかし、金融引き締めは負債比率の低いハイクオリティ銘柄にとって相対的に追い風になります。当ファンド組み入れ上位の主力株のパフォーマンスにも改善の兆しがみられています。

一方、比較的サイズの小さい銘柄やADR（米国預託証券）などではまだ停滞している銘柄が多いです。2020年11月以降やや不利な相場付きが続いていましたが、今後は金融引き締め懸念が落ち着くことで、個別銘柄の魅力に再び注目が移り、パフォーマンスの改善する銘柄も広がっていくと期待しています。

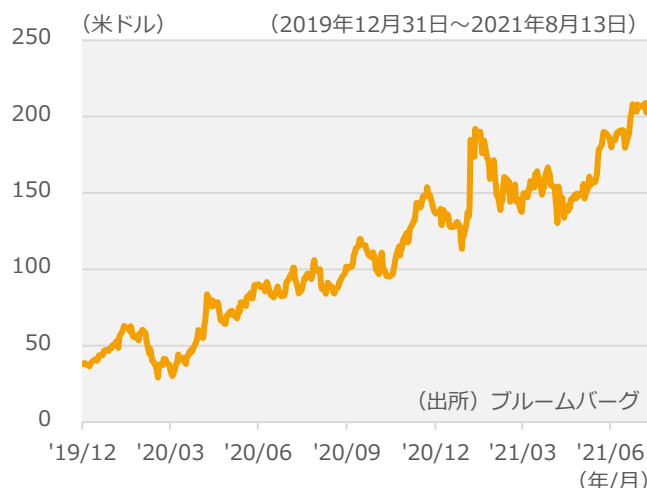
以下、過去1年のパフォーマンスへの影響の大きかった銘柄などについて紹介させていただきます。

■ 過去1年においてファンドへのプラスの影響が大きかった銘柄

ビルドットコム 顧客が新たな顧客を呼ぶ好循環。赤字でもますます高まる競争力

ビルドットコムは、紙ベースが多い領収書や請求書を電子化することで、中小企業の決済処理を簡素化するソフトウェアを提供しています。

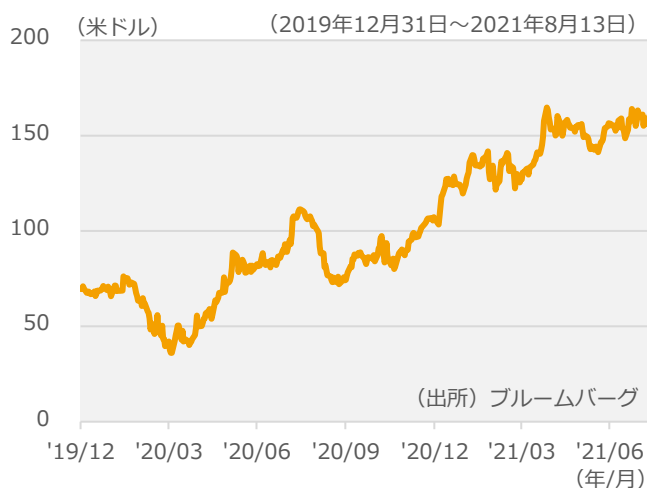
請求書・領収書の電子化にとどまらず、決済まで同社のプラットフォームで完結させることを目指して先行投資を進めているため赤字です。しかし、顧客数は着実に増えています。ビルドットコムのソフトウェア経由で請求書を受け取った取引先が同社のサービスを知り、新たな顧客になるというケースもあるようです。ユーザー拡大に好循環が見られ、競争力がますます高まっているとみえています。



フォックスファクトリー 自転車向けと交換部品の安定収益が競争力の源に

フォックスファクトリーは、高級マウンテンバイクのサスペンションを製造しており、オフロード車など車向けにも事業領域を拡大しています。

オフロード車での採用増が近年の業績をけん引していますが、コロナ禍の健康志向により自転車向けも好調です。また、交換部品向けも順調に拡大しています。自動車部品であれば、半導体不足による車体メーカーの生産調整が影響しそうですが、同社は大きな影響を受けていません。安定した収益源により、困難な局面でも設備投資ができ、競争力を高められることが強みであります。



※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

※ご紹介した企業はあくまでも参考のために掲載したものであり、個別企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに組み入れることを示唆・保証するものではありません。

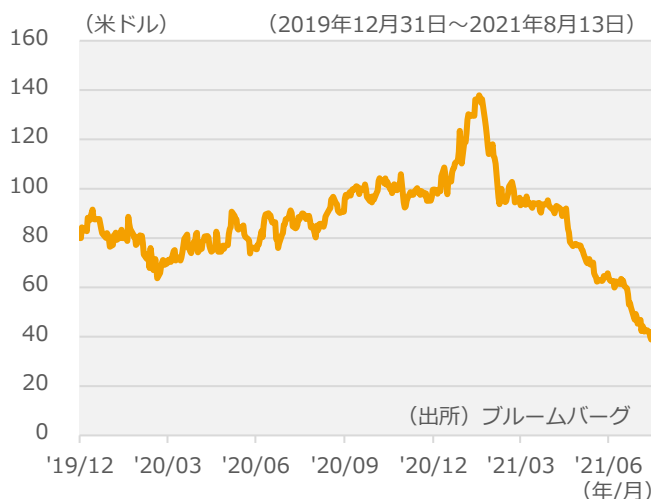
過去1年においてファンドへのマイナスの影響が大きかった銘柄

オートホーム ADR

規制リスク、新車販売鈍化により大幅下落。サイトの魅力は持続

オートホームは中国で自動車情報サイトを運営しており、ニューヨーク市場にADR（米国預託証券）の形式で上場しています。高い閲覧件数を誇り、自動車ブランドやディーラーにとっては見込み客を効率よく獲得できるサイトになっています。

株価は厳しい売り圧力にさらされています。まず中国政府によるネット企業への規制強化懸念が下落の要因になりました。この点について中国政府の目的は「適正なルール」を定めることだと考えています。また「教育」のような重要度の高い規制産業でもなく「独禁法」が問題になる大きな産業でもないの、実際に規制強化のターゲットになる可能性は小さいと考えます。次にファンダメンタルズですが、半導体不足により新車販売が低迷していることが業績見通しを押し下げました。



ケイン社では保有について何度もレビューを行い、討論を重ねてきました。上記2つの要因どちらについても今後の状況については注意深く見守る必要があります。ビジネスオーナーの視点で考えると、長期的に重要なのは閲覧件数などサイト自体の魅力が維持できているかどうかです。この観点から、長期的には上値が見込めると判断し、保有を継続しています。

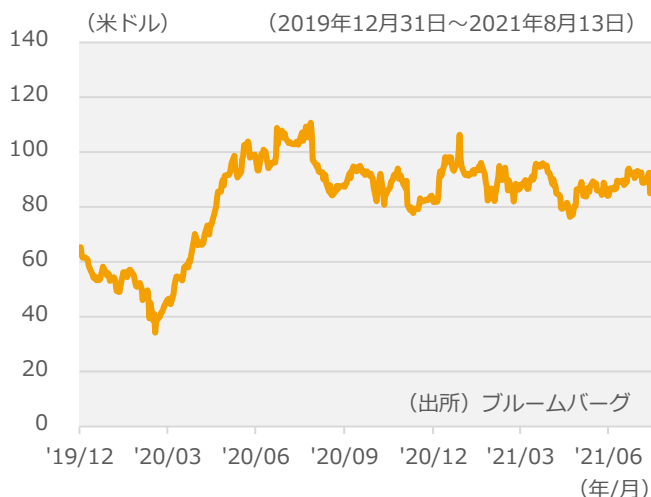
オリーズ・バーゲン・アウトレット

上昇一服から利益確定売り。高いコスト競争力と顧客満足度は健在

オリーズ・バーゲン・アウトレットは米国東海岸を中心に展開するアウトレットショップです。コロナ初期において、ロックダウンなどで都市部では閉店している実店舗が多い中、同社の郊外の店舗は開店していたことで業績が好調でした。株価もそのため2020年8月ごろまで上昇しました。しかし、ロックダウンが解除され、経済活動が正常化に向かうに連れ、業績も通常通りに戻り、株価も利益確定売りに押し戻されました。

昨年の一時的な業績の嵩上げにより今年は前年度比で業績が見劣りしていますが、ケイン社では、オリーズは400店もの店舗網を武器に格安で大量に仕入れるノウハウに強みがあると考えています。また、「掘り出し物を見つけ出す」という消費体験は例えば同業他社のコストコなどでは味わえない楽しみであり、同社の競争力の源泉であると考えています。

着実に店舗を拡大しており、東海岸中心の店舗展開から全国に拡大することを期待して、保有し続けています。



※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

※ご紹介した企業はあくまでも参考のために掲載したものであり、個別企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに組入れることを示唆・保証するものではありません。

最近1年間で新規に組み入れた銘柄

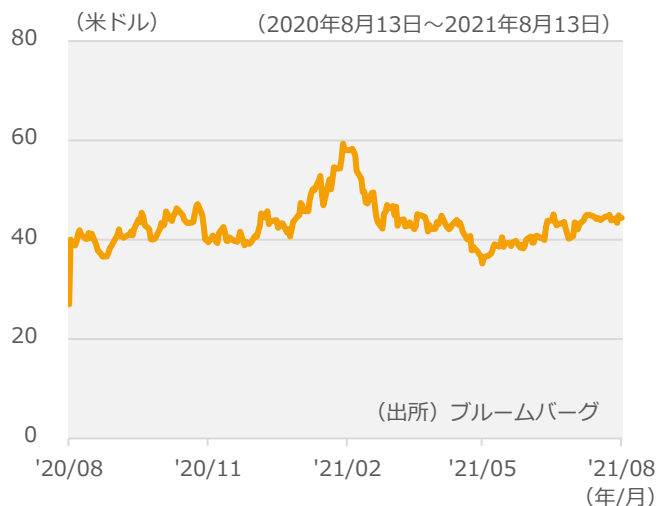
ダック・クリーク・テクノロジーズ

保険向け基幹システム。クラウド対応で先行者メリット

ダック・クリーク・テクノロジーズは大手システムコンサルティング会社からスピンオフしたソフトウェア会社です。保守的な保険業界の基幹システムにおいてクラウド化を進めていることで業績を伸ばしています。

開発を全てカスタマイズするのではなく、簡素化が可能なローコード技術を使用することで、開発期間を短縮でき、定期アップデートにかかる顧客側のコストも削減できることが強みになっています。また、重要度の高い基幹システムに関係しているため、一度採用されると置き換えが難しいことも強みであります。

創業は2000年ですが、2020年8月に上場したばかりです。まだ株価の動向は不安定ですが、競争力により長期的に業績を拡大できると考えています。



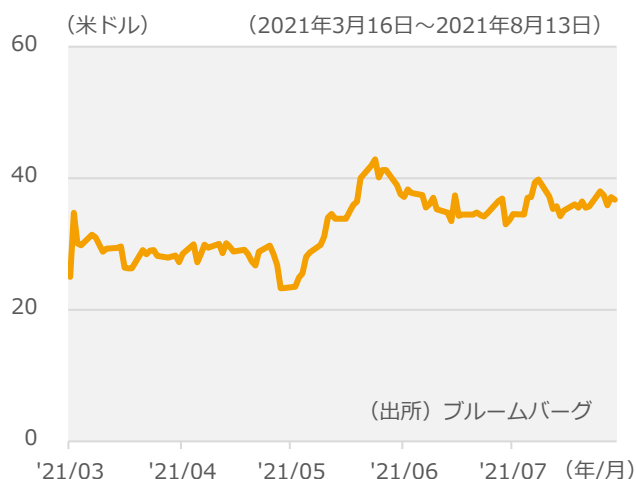
オロ

レストランでの注文をデジタル化。既存POSも有効活用

オロはファストフードチェーンやファミリーレストラン向けにシステム開発しており、特にアプリなどを使った注文システムで競争力を持っています。

類似する他社商品は業界にも多数ありますが、多くは厨房に別途タブレットを設置する必要があります。オロのソリューションは既存のPOS（販売時点情報管理）システムを活用でき、客がオーダーするとPOSシステムを経由して厨房に注文が届くため、追加コストが少ないことが特徴になっています。また、このシステムは業者が乱立しつつあるデリバリー向けにも活用できます。デリバリー業者の指定したシステムではなく既存システムに連携させて注文を受けられる点が評判になっています。

創業は2005年ですが、2021年3月に上場したばかりです。今後も潜在的需要の拡大が期待される市場で、POSと連携できる強みとコスト競争力により事業を拡大できると期待しています。



※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

※ご紹介した企業はあくまでも参考のために掲載したものであり、個別企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに組入れることを示唆・保証するものではありません。

運用方針：今後も競争優位性のある成長企業に投資

良好な経済環境が続くと想定しており、株式市場もその恩恵を受けると考えています。インフレ懸念および利上げ懸念などにより市場の値動きが不安定になっていますが、市場参加者は高いインフレ率は一時的なものだと判断しつつあります。しかしながら、中長期的な視点では緩やかな金利上昇と経済成長の鈍化が見込まれるため、競争力のあるハイクオリティ企業に投資することが有益だと考えています。

当ファンドでは、持続的な競争優位性をもつ企業にフォーカスして運用しています。十分強固な財務体質を有する企業、自ら創出するキャッシュフローで成長投資を行うことができる企業、独自のビジネスモデルで高い利益率を実現できる企業へ投資を行う当戦略は、緊急時の各種刺激策が期待される局面では相対的に見劣りすることもありましたが、経済活動が平常化した後でこそ優位性を発揮すると考えます。

情報が効率的でない小型株市場において、長期的な視点で競争優位性により持続的に成長していける銘柄の発掘に引き続き注力してまいります。

組入上位10銘柄紹介 (2021年7月末時点)

銘柄名 (国・地域名/業種名)	銘柄紹介	比率
BILL.COM HOLDINGS INC ビルドットコム・ホールディングス (アメリカ/情報技術)	請求書や領収書取引を電子化するソフトウェア会社。会計ソフトや金融機関との連携により、決済までの手間を削減。米国公認会計士協会も認める信頼性の高いソフトで、中小企業から大企業にユーザーを拡大している。	8.9%
FOX FACTORY HOLDING CORP フォックス・ファクトリー・ホールディング (アメリカ/一般消費財・サービス)	主にマウンテンバイク、オフロード車両、トラック、オートバイに使用される高性能なサスペンションを設計・製造している。高性能マウンテンバイクのサスペンションで高い市場シェアを有しており、性能とブランド力を武器に高い収益性を実現している。オフロード車両でもブランドの認知が進んでおり、安定した成長が見込まれる。	8.9%
OLLIE'S BARGAIN OUTLET HOLDI オリーズ・バーゲン・アウトレット・ ホールディングス (アメリカ/一般消費財・サービス)	ディスカウントショップ・チェーン会社。「良い物を安く」買えることに加え、「掘り出し物を見つける楽しみ」が顧客満足度を高めている。米国東部中心に店舗展開をしており、規模による調達面の優位性を持っている。エリア拡大による成長余地も大きい。	6.4%
AUTO TRADER GROUP-UNSP ADR オート・トレーダー・グループ (イギリス/コミュニケーション・サービス)	英国のオンライン自動車売買サイトの最大手。中古車が大半ながら、近年は新車取扱いも急増中。同社サイトは、業界2位と比較して閲覧者（買手）、掲載車数（売手/在庫）において圧倒的なシェアを獲得しており、それが参加者をさらに増やす好循環に繋がっている。	5.5%
RYAN SPECIALTY GROUP HOLDINGS INC ライアン・スペシャリティ・グルー プ・ホールディング (アメリカ/金融)	保険業界における独立系ホールセール・ブローカーとしてトップクラスの規模を持ち、独立系ゆえに幅広い保険代理店やリテール・ブローカー（保険仲立人）を相手に業務を拡大している。一方、保険会社や再保険会社にとっては、被保険者の情報を集約できる同社からの情報・サービスは、リスクマネジメントにおいて貴重なものとなっている。	4.3%
BLACKLINE INC ブラックライン (アメリカ/情報技術)	米国の財務・会計ソフトウェア会社。煩雑な決算書作成業務を、クラウドベースで自動化・管理するソフトウェアを提供する。ERPなど企業の基幹システムとも接続できており、高い競争優位性を有している。最近ではリモートワークも追い風になっている。世界各地で事業を展開。	4.1%
AVALARA INC アバララ インク (アメリカ/情報技術)	世界中の顧客に売上税管理ソリューションを提供している。あらゆるプラットフォームに対応した会計・ビジネスアプリケーションを統合して売上税プロセスを管理するウェブベースのソリューションのほか、コンサルティング、トレーニングコース、技術サポートサービスなどを提供している。	3.9%
MORNINGSTAR INC モーニングスター (アメリカ/金融)	投資情報サービス会社。ミューチュアルファンド、株式、および変額年金を対象としたデータ、リサーチ、分析を手掛ける。個人、運用会社、機関投資家向けに、印刷物、ソフトウェア、インターネット経由などさまざまな形態で製品を提供しており、信頼度の高い情報ベンダーである。	3.7%
RIGHTMOVE PLC-UNSP ADR ライトムーブ (イギリス/コミュニケーション・サービス)	英国最大級の住居用不動産ウェブサイトを運営。英国の住宅価格の変化を掲載する情報誌を出版しており、住宅購入者の購買行動を変えたことで、強力なネットワーク効果を確立。高い競争優位性を保有している。	3.4%
ASPEN TECHNOLOGY INC アспен・テクノロジー (アメリカ/情報技術)	化学、エンジニアリング、建設、エネルギー市場をターゲットとした、プロセス最適化ソフトウェアの業界リーダー。プロセスやサプライチェーンにおけるデータの見える化と最適化に加え、AI（人工知能）関連技術も積極的に取り込んでいる。業務効率化を通じて顧客の収益力向上に貢献しており、今後も成長が見込まれる。	3.3%

※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

※ご紹介した企業はあくまでも参考のために掲載したものであり、個別企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに組入れることを示唆・保証するものではありません。

Ⅰ ファンドの目的・特色

ファンドの目的

米国の小型株式等に投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. 米国の小型株式等の中から競争優位性があり、高い利益率を長期にわたり維持できる企業を厳選し投資します。
(注1)「米国の小型株式」とは、米国の金融商品取引所上場および店頭登録の株式のうち、ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメントが、時価総額をもとに小型と判断した銘柄を指します。
※「株式」にはDR(預託証券)、「上場」には上場予定、「店頭登録」には店頭登録予定をそれぞれ含みます。
(注2)一部、小型株式に該当しない銘柄に投資します。
◆ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行なうことを基本とします。
①定量的スクリーニングや業界分析等を通じて、調査対象銘柄を選定します。
②調査対象銘柄に対して徹底的なファンダメンタルズ分析を行ない、企業の持つ競争優位性や経営陣の評価、資本効率等を考慮して投資候補銘柄を選定します。
③業種分散、銘柄分散を考慮して、ポートフォリオを構築します。
2. 米国の小型株式等の運用は、ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメントが行ないます。
◆外貨建資産の運用にあたっては、ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメントに運用の指図にかかる権限を委託します。
3. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。
マザーファンドは、「米国小型株サステナブルグロース・マザーファンド」です。
※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

Ⅰ 投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動(価格変動リスク・信用リスク)」、「中小型株式への投資リスク」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他(解約申込みに伴うリスク等)」

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※一銘柄当たりの組入比率が高くなる場合があります。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉3.3% (税抜 3.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.958% (税抜 1.78%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用：

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

商号等

大和アセットマネジメント株式会社

加入協会

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号

一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメント株式会社が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

米国小型株サステナブルグロース・ファンド（愛称：ダイヤの原石） 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社大東銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第17号	○			
株式会社山形銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第12号	○			
池田泉州TT証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第370号	○			
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
OKB証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第191号	○			
岡三にいがた証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第169号	○			
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○	○		○
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○			○

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。